

御嵩小学校

生徒指導通信

3月11日発行



ohana



『お手伝いのススメ』

新型コロナウイルス感染予防のための急な休校が始まり、子どもたちも「何をしても良いのかわからない」と困惑しているのではないかと思います。中には学校から出された課題も終わり、折角の時間をテレビゲームばかりに費やしているのを苦々しく見ている保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか？そんな子どもたちや保護者の方々に楽しくてしかもこれからの学習に役立つプログラミングのゲーム(?)を紹介いたします。

「プログラミング教育」という言葉を耳にされたことがあると思います。令和2年度から小中学校で始まる新しい学習内容がそれです。近い将来訪れるAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)がもたらす「創造社会」に生きる力をつけるのが「プログラミング教育」です。小学校では「プログラミング的思考を学ぶ」のが目的です。

右は低学年向けに作られた「プログラミング教育」の問題です。ご飯やお風呂の準備の中にも「プログラミング的思考」があります。

物事を順序立てて行う。正しく判断しながら物事を進める。こういったこともプログラミング的思考と考えられています。

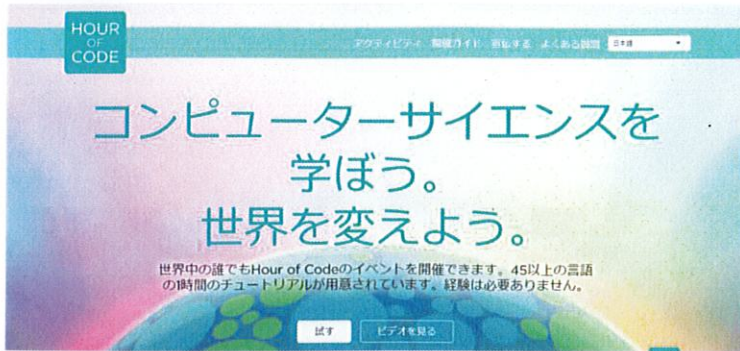
料理やお手伝いのように先を見通して行う活動はプログラミング的思考を磨く絶好の場になります。「プログラミング教育」と真新しい呼び名が付いていますが、お手伝いをよく考えてできる子に育てるとのことなのです。是非、この休み中にお手伝いを積極的にやらせてあげてください。

裏面で紹介するのは、実際に御嵩小学校でもプログラミング教育の時間に利用する予定のアプリです。どれも無料ですし、文部科学省も推薦しているものです。チュートリアルという解説もありますが、試行錯誤して自分で使いこなしていけるようにするのも大切なプログラミング教育の活動です。お家のPCやタブレットで使えますのでお試しください。

お風呂やご飯の準備を正しくするためにどうしたらよいかイラストを見て考えてみよう。



『Hour of code』

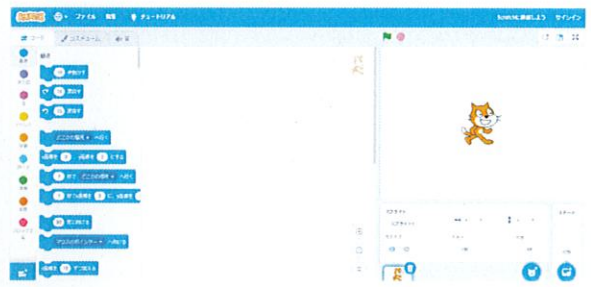
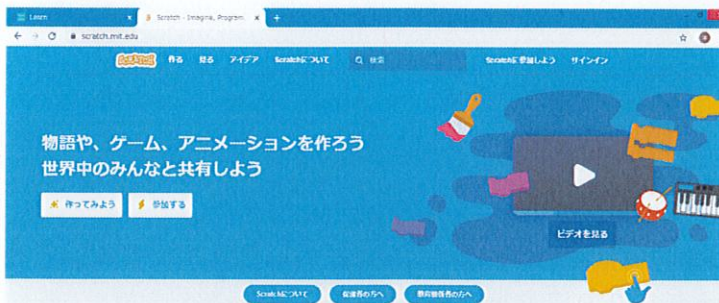


オバマ大統領が学校に行けない世界中の子どもたちのために立ち上げたサイトです。プログラミング教育に役立つゲームがたくさんあります。



<https://hourofcode.com/jp>

『Scratch (スクラッチ)』



「プログラミング教育と言えばScratch」と言われるくらいの定番アプリです。御嵩小でも中高学年で使う予定です。ゲーム作り、音楽作り、さまざまな創造的な活動に対応している万能アプリです。



<https://scratch.mit.edu/>

『Viscuit (ビスケット)』



自分が描いた絵が動く、変わる、低学年から使えるお絵かきソフトです。未来の図画工作の授業ですね。



<https://www.viscuit.com/>